経営をよりよくしたい経営者様へ

経営カイゼンつうしん

今回の
テーマは
設備投資
その3

vol.23

1. 設備投資の効果

設備投資は、何のために行うか？
今一度。

経営面で社会的課題をビジネスを通じて解決を図ろうすること。
もう一つは、キャッシュ・フローの最大化でした。

今日は、キャッシュ・フローの最大化についてです。

設備投資を行うと、
会社の中で、いろんな影響が出てきます。
原材料が減ったり、製造労務費が減ったり、売価を上げることができたり。
様々な面で影響が出てきます。

そこで、
もれなく、だぶりなく、すべてを書き出す必要があります。

そこで、役立つのは、
普段、ワタクシは、あまり使わないんですが、
フレームワークを活用します。

いろいろありますよね。
４Pとか３ｃとか、バリューチェーンとか。
これらを活用して、どこに影響がでるのか見定めます。

2. 効果の数値化

さて、先述の項目について、いよいよ数値化していきます。
労務費が今後５００万円減るなとか、
伝票整理に掛かっていた時間＝人件費が２００万円減るなとか、
その減った時間で、付加価値ある仕事ができて、１００万円増収するかなとか、
設備投資をするから、動力費が５％増えるな、でも、古い機械は捨てるから１０％へるか、、とか。

すべてを書き出す。
そして、大事なのは、変化するところだけ、書き出すことが大事です。

だって、設備投資は、変化させることが目的ですから、、、。

みなさまへ、手紙を書くつもりで書きます！

3.自己紹介

国仙悟志（こくせん さとし）　１９７４年７月９日、札幌市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、地方大手百貨店に入社し、店頭販売、販売促進、店舗運営、民事再生法手続関連部署にて勤務しました。
　在職中、室蘭店勤務で赴任していたときに、あまりにも時間があることがわかり、（正確に書くと、ビールと焼鳥が美味しく不摂生がたたり、健康診断の結果が悪く、人事部に呼ばれたのがきっかけ）産業能率大学経営情報学部通信課程を受け、卒業しました。勝間和代氏がメディアによく出ていたころで、早起きして勉強に励むという生活スタイルが話題になり、ワタクシも、早起きの習慣を手に入れました。このとき以来ずーっと早寝早起きを行っています。
　その後、中堅石油販売会社にて勤務し、その間に、中小企業診断士を取得し、２０１１年に独立開業、２０１４年に法人を設立しました。百貨店時代に経験したマーケティング、マーチャンダイジング（品揃え戦略）、プロモーション、企業再生、そして、石油販売会社で経験した中小企業の実体験。
これらの経験、さらには、開業後の活動、研究などが、今の仕事のベースになっています。

©中小企業診断士　国仙悟志　株式会社ブルームプラン